

2011 年度第 3 四半期決算 質疑応答

Q 「WOWOW大感謝ウィーク」の展開について、編成内容や意図をお聞かせください。

A 3月には新規開局もあり、BS全体で視聴喚起を推進していこうとする中で、WOWOWに触れていただくための企画として、WOWOWプライムにおいて2月27日（月）から3月4日（日）の1週間に渡って無料放送枠を設けます。

月曜日から金曜日は、2011年10月より平日18時50分からお届けしている情報番組「ザ・プライムショー」に続けて、ゴールデンタイムにおいて海外ドラマや音楽ライブなどを無料放送でお届けするとともに、土曜、日曜はあわせて約16時間のボリュームで、映画をはじめとしたWOWOWの魅力を感じていただける無料放送を編成することで、新たな出会いを提供したいと考えています。

Q ハリウッドメジャーの映画番組については、費用は前年同期に対して減少していますが、本数については増えているのでしょうか？

A 2011年10月からの映画専門チャンネル立ち上げにより、延べの放送本数は前年度より増加しております。ハリウッドメジャー作品の調達には、各スタジオと複数年に渡り締結している包括契約に基づいており、契約全体については3チャンネル化によって変更はありませんが、円高で推移している為替の影響等により費用は前年度より減少しています。

Q 新聞への広告出稿が目立ちますが、媒体別の広告宣伝戦略をお聞かせください。

A WOWOWのブランド全体の訴求、放送している個別番組の訴求など、訴求する内容や訴求先の特性にあわせて、WEBを活用した広告も含めた媒体の選定を行っていく、という大枠の広告宣伝戦略を持っています。

2011 年度第 3 四半期決算 質疑応答

Q 第 3 四半期で番組費および広告宣伝費をかなり投下していますが、通期において各費用とも前年度に対して増加するのでしょうか？

A 番組費に関しては、ハリウッドメジャー以外の番組による有料放送番組費の比率を高めながら、前年度に対して増加する計画です。広告宣伝費についても、フルハイビジョン・3チャンネル番組周知のため、前年度に対して増加する計画です。

Q 通年で 3 チャンネル編成となる来年度以降、番組費の推移をどのように想定していますか？

A 今年度は第 3 四半期からの半期、来年度は通年で 3 チャンネル編成のための番組費がかかりますが、これまで通り、売上高に対して一定の割合を目安に、番組のさらなる充実に向けて番組費を投下していきます。

来年度の事業計画は現在策定中ですが、2014 年度までの中期経営計画でも述べている通り、売上高に対する番組費割合のピークは来年度になると想定しています。

Q 来年度の加入計画について、通年でのフルハイビジョン・3チャンネル放送実施や「大量加入・大量解約」からの戦略転換が定着していく中で、年間の新規加入件数目標はどれくらいとお考えですか？

A 来年度の計画は現在策定中ですので詳細は申し上げられませんが、戦略転換により解約件数が減少している 2011 年 10 月以降の傾向を踏まえ、解約をどれだけ抑えられるかということを重要視しながら、これに連動した新規加入計画を策定しているところです。

Q CS や CATV など他プラットフォーム経由では価格キャンペーンを実施しているようですが、加入件数に影響はありますか？

A 各プラットフォームと協力して加入獲得を行っていく中で、価格キャンペーンを行うこともあります。この部分については、今後の各社との交渉の中での課題ではありますが、各プラットフォーム経由の加入件数は全体の 2 割程度ですので、大きな影響はないと考えています。

2011 年度第 3 四半期決算 質疑応答

Q WOWOWの番組の認知を今後さらに広めていく手段について、今後の取組みの方向性をお聞かせください。

A 加入者の方々に毎月お届けするプログラムガイドはもちろんのこと、お客様の好みのジャンルを登録して、放送日前におすすめ番組をメールでお知らせをしたり、先に実施した「WOWOW 大開局祭」のようなSNSの活用、今般放送した全豪オープンテニスでも実施したインターネット無料生配信など、様々なサービスの高度化によって、WOWOWを知っていただくため、WOWOWをより楽しんでいただくための環境が整いつつあると考えています。これからも環境にあわせた取組みで、認知拡大に努めたいと考えています。

Q 来年度の業績の要素について、今年度に引き続きコストが先行するのかなど、現在策定中の事業計画の方向性を教えてください。

A 2010年5月に発表した2014年度までの中期経営計画では、利益ベースでは2011年度を底とし、2012年度以降で成長に転ずる、という計画を策定しています。東日本大震災や円高の影響もありますが、2012年度は、費用を一定の割合で抑えながら、2011年度の加入件数増による収入増によって利益を増やしていくという方向性は変わらない予定です。

Q 第3四半期末で13億8千万円の短期借入金をしています。足許の資金繰り状況をお聞かせください。

A 3チャンネル化による番組費の増加と放送設備更新等を見越して、当初から借入を想定しておりました。今回の借入金は3チャンネルスタートによる一過性のものですが、番組費増加や放送設備更新等による借入は、今後も一定額発生すると考えています。

以上